

とことん！淡路島ぐるりんロード

8月11日（月） ～ 8月15日（金）

IN 国立淡路青少年交流の家、民宿『大浜荘』、『西田荘』

	午前	午後	夜
1日目	淡路島に向けて出発 ぐるりんスタート	ぐるりんサイクル	諭鶴羽山到着・振り返り
2日目	ぐるりんサイクル	施設到着・休憩 レクリエーション	振り返り
3日目	海遊び	海遊び 野外炊飯	振り返り
4日目	ぐるりんスタート	ぐるりんサイクル 民宿到着	振り返り
5日目	ぐるりんスタート	淡路島を出発 解散	

一日目： 毎年恒例の淡路島自転車一周キャンプが始まりました。昨年も参加されたメンバーもおれば、今年初参加のメンバーもおられ、今年の淡路島も面白く盛り上がりそうな予感がします。明石にて全員揃うと、急ぎ足で自転車を借り、高速フェリーに乗りました。まだみんなの表情に余裕の色が伺えます。淡路島に渡り、諸注意を一通り聞くと、自転車をきちんと乗りこなせるかどうかの試験を行いました。普段乗っている自転車より遥かに大きな自転車を扱うため、乗り方から降り方まで安全に出来るか確認しました。試験を終えるとついにスタートです。お日様も本格的に照り付け出し、コンディションは最高となりました。試験を通して、真剣な顔で走っていました。我々が思った以上にペースは速く、少し心配でしたが、そのままのペースで走り続けました。適度に休憩も取り、体調不良を訴えるメンバーもおらず、今までに比べてスムーズに走り出せています。洲本市から南あわじ市に入ると、昨日までの台風の爪痕があらこちらに見られました。土砂崩れの跡や、水が溢れている箇所があり、驚いていました。その影響で一泊目の諭鶴羽山に到着が遅くなりましたが、振り返りを終え、無事にみんなでおやすみなさいを言うことができました。明日も、青少年交流の家まで続きます。よく寝て、明日も頑張りましょう！！



二日目： 昨日の怒涛の一日から一夜明け、起床時のみんなの顔からは疲れは取れておらず、ぼーっとされている方がチラホラおられました。起床し、洗面、着替えを済まし、朝食の時間を迎える頃からようやく意識がハッキリされ出しました。朝食後、出発の準備を終わらせ、お借りした諭鶴羽神社の周辺を奉仕清掃しました。お借りした場所をキレイにと、皆必死にされていました。諭鶴羽山を下り、自転車にまたがり施設へ向かいました。昨日の疲れが響いているのか、どこか足取りが重たそうでした。そういう時こそ、「頑張れー！！」という声かけがしんどい仲間の背中を押し、勇気付け、最後まで頑張っておられました。そして、施設に到着することができました。中間地点ですが、それでも達成感は大きく疲れの中に満足気な表情が見られました。昼食を済ますと、みんなで大きな和室で完全な休息、『お昼寝』をしました。寝て、体力を回復させ、体調を落ち着かせるのも必要で、「眠たくない～」と言っていたメンバーもまくらと心地よい空調のコンビネーションにぐっすり眠られました。しっかりと休息を取ったあと、砂浜でレクリエーションを行いました。後半のお小遣いの金額がかかってくるので、みんな必死に走り、叫び、滑り込み、砂まみれになっていました。気が付けば小遣いの事よりも友達の頑張りを一生懸命に応援されている姿がありました。どのグループも非常に白熱しており、自転車の時とは違う笑顔がありました。昨日から続く激しいスケジュールの中、体力も底を尽きそうになりながらも『楽しい！』気持ち一心で動かれています。施設で過ごす二泊三日の間でどれだけ仲間の距離を縮められるか楽しみです。



三日目： 朝からラジオ体操もハツラツと体を動かせ、朝の集い時も大きな声で挨拶をされていました。今日は一日施設で過ごす日で、たくさんの楽しいプログラムを行いました。日中は、阿万海岸にて海水浴を行いました。毎年行っている海遊びで、これを楽しみにされているメンバーもおられました。飛び込み台から飛び込んだり、堤防まで遠泳をしたり、砂の造形を行ったり、貝殻や海の生き物を集めたり、想い想いのもと楽しまれていました。昼食後も最後まで楽しんでおり、気が付けば友達の輪が広がり、グルー



プ以外の友達とも楽しくされていました。楽しい海遊びが終わり、野外炊飯で夕食「やきそば」を作りました。調理担当から野菜の切り方まで話し合い、時には口論になりながらも決められていました。作った量が多く戸惑いもありましたが、頑張っって食べました。片付けも調理と同様、自分達で担当を割り振り、片付けを行いました。特に自分達以外の片付けも率先して次々に行われていたので、キャンプを通して意識が高まっていると感じました。毎夜行っている振り返りでみんなの気持ちがグループに向いているのがわかります。そして、お互い正直に話し、仲間のいいところ、頑張っしてほしいところ、やめてほしいところ、スゴイところ、日を追うごとに内容も増え、じっくりと話し合っています。明日から、後半戦が始まります。前半と比べ、グループはどう変わったのか、また変わっていないのか、時間をかけて感じて欲しいです。



四日目： 自転車後半が始まりました。朝からやる気満々の雰囲気十分に感じ取れ、朝の集いから朝食、清掃と、テキパキと動かれていました。そして、自転車を漕ぎ出し、本日の宿泊地に向かってスタートしました。初日とは全く違い、自転車に乗ることにはなんら問題なく、声出しや、しんどそうな仲間へのフォローが自然と出ていました。昼食は道の駅『うずしお』にて済ませました。ちょうど潮の入れ替わりの時間帯で渦も見る事が出来ました。お腹も満たされ、エネルギー充電されると残りの道をひたすら突き進みました。そして、念願の民宿にたどり着くことが出来ました。民宿では頑張ったご褒美として、晩御飯にバーベキューをしました。今までとは違う食事に皆大興奮で、お肉も野菜もいっぱい食べました。夜は花火をし、楽しい時間を過ごしました。そして、いつもの振り返りを行いました。今回のキャンプで感じたこと、思ったこと、触れたこと、様々な想いのもと、いつも以上に長い時間かけました。長い旅も明日で終わりです。



五日目： 民宿で十分体を休め、ゴール「岩屋港」へ走り出しました。天候は、朝食時は良かったのですが、徐々に空色が怪しくなり、出発間も無く雨が降り出しました。それでも皆のゴールへの意志は決して失われることなく、集中し、ゴールのみ見据え進んでいました。最終日の昼食は自分達で好きな場所で購入し、食べてもらいました。進んでいると自転車が停まっており、店内では笑顔いっぱい商品を選ばれている姿がありました。雨の中でも、軒下で楽しく笑顔で食べている姿は初日から想像もできないほど、心身共に逞しくなっていました。ついに明石海峡大橋が見え、ラストスパートにかかりました。走りにも力が入り、掛け声も一際大きくなり、ゴールへ皆で進んでいました。そして、念願のゴール！！喜びが爆発するかと思いきや、一気に疲れが出てきたせいか喜びよりくたびれが見られました。それでも、ゴールの達成感はあるようで、ニヤニヤとされていました。ゆっくり休憩しながら、本日の、そして今までの振り返りを行いました。この5日間、自分達はこういった道を歩んできたのか、そしてこれからこういった道を歩みたいのか、歩いていくのかを時間かけてゆっくりと話し合いました。フェリーの出港の時間と共に、淡路島とのお別れの時間がやってきました。淡路島を見ている姿は何を思っていたのでしょうか？それはご本人しか分からない、説明のしようのない気持ちだと思います。また来年淡路島を走りましょう。そして、今回感じ得た気持ちを大事にしてください。



<キャンプ総括>

今年で5回目を迎えました。そして、今年は『とことん』という事で、鳴門海峡方面も走りました。聞いただけでも驚く内容を行ったメンバーの皆の反応は意外に薄く、大きな喜びや感動が当時はありませんでした。しかし、達成感というのはジワジワくるもので、しばらくすると自分がやりきった偉業に感動し、自信に繋がってくると思います。期間中に仲間と沢山の経験をし、多くの感情を抱かれました。それらは普段の生活ではなかなか感じられない事であり、貴重な経験として胸に留めておいてほしいです。今回のキャンプをこれから直面する様々な困難を乗り越える為の糧として欲しいです。毎年参加していただいているメンバーが、「自転車も道も同じだけど、毎回違う感じがする。だから、毎年参加したい。」とおっしゃっていました。来年も是非とも一緒に淡路島を一周しましょう!! (竹中 哲郎)